

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 兵庫県立洲本実業高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒656-0012

兵庫県洲本市宇山2丁目8番65号

E-mail sumoto-ihs@hyogo-c.ed.jp

Website http://www.hyogo-c.ed.jp/~sumoto-ihs/

幼児児童生徒数 男子 255 名 女子 210 名 合計 465 名

幼児・児童・生徒の年齢 16 歳～18 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

持続可能な地域社会を築くために、本校は「環境教育プロジェクト」、「地域連携プロジェクト」、「地域理解プロジェクト」をテーマとして取り組んできました。

① 環境教育プロジェクト

「次世代自動車教育」において、前半はハイブリッド車・PHV 車・電気自動車・水素自動車について燃費や価格など身近なところから、燃料電池の発電機構などの専門的な知識についても講義を受けました。後半は実車体験として日産リーフのカットモデル車による機構の説明・試乗や自前の水素自動車に実際に運転乗車させていただきました。生徒たちの興味関心も高く、今後より一層進んでいくハイブリッド車や電気自動車の仕組みを理解でき生徒たちはこれからの自動車社会についてより一層理解を深めることができました。

「再生可能エネルギーを利用した照明機器の開発・研究」を通して、生徒はエネルギー環境に係わる発見学習、問題解決学習など主体的に活動しました。東北地方でボランティア活動として、被災地に風力発電を設置・寄贈しました。

② 地域連携プロジェクト

地域貢献活動として、洲本市内の小学校に対して出前工作授業を行いました。牛乳パックをリユースした有線式リモコンロボットを本校生徒が講師となって製作しました。本校生徒はものづくりへの興味関心、資源の大切さなどを活動しながら小学生と共に学ぶことができました。

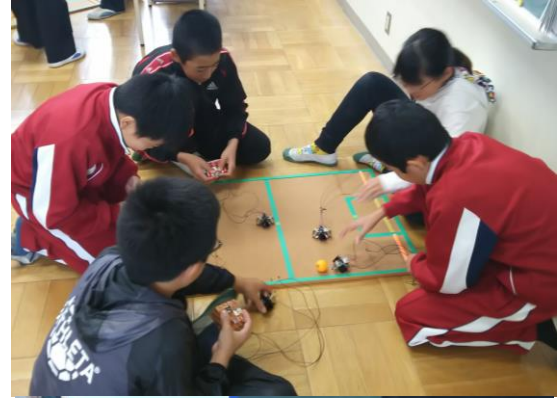
商品開発において、淡路島福社会と連携し淡路島の特産品「鳴門オレンジ」と電子紙芝居をコラボさせた「たぬきの贈り物」(クッキー)を完成させました。

「ふれあいパソコン教室」においては、生徒が講師となり、高齢者の方に講習をした。共に学び会うことにより、生徒の自己有用感が育ちました。

③地域理解プロジェクト

2015 年から始まった地元「淡路島」を理解するための講演会を実施し、全校生徒が「ふるさと淡路島」の歴史や文化について学習しました。生徒にとっては、新しい観点で自分たちが住んでいる地元について気付く良い機会となりました。

「次世代自動車教育」
「出前工作授業」



東北地方でのボランティア活動風景

風力発電設置風景



商品開発「たぬきの贈り物」

「ふれあいパソコン教室」



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

各教科の教科書 地域理解用図書「淡路学読本」 コンピュータ 映像機器

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのような

に位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

3年生全員履修による「課題研究」で①環境教育プロジェクト②地域貢献プロジェクト③地域理解プロジェクトを実施しました。

各自がグループに課題を設定し、その課題解決に向けて、グループワークや体験的な学習活動を行いました。また、1月末に全校生参加の発表会を開催して、各グループが成果を発表しました。来年度実施する2年生が本年度の活動発表から各自のテーマを新年度決めます。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

これまでボランティア部がボランティア活動の中心的な役割を果たしていました。ボランティア部をユネスコクラブと名称を変更し、ボランティア活動だけでなく、広くユネスコスクールとしての役割を果たすようにしています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

3年生全員履修による「課題研究」での成果発表会を1月に全校生対象に行いました。各グループが設定した課題についての設定理由、成果を発表しました。その様子をPTA、学校評議員に紹介し、改善点などの意見をいただきました。また、HPに活動の様子を載せて、広く公表し、意見をいただいています。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られ

ホームページにおいて、本校の活動状況・活動成果を発表しました。また、各新聞社に依頼をし、本校の取り組みについて取材をしていただき、広く知ってもらうようにしました。その結果、地域の方から多数の意見をいただき、今後の活動の参考になりました。

た効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

JICA 四国と連携を行い、中南米から十数名の方を本校に招いて、本校で行われているESDを紹介し、交流を図りました。本校で行われている風力発電についての研究成果を発表すると共に東北の被災地でのボランティア活動の様子について報告を行い、意見交換を行いました。

本校で制作した水力発電装置を地元の公園に設置しました。その結果、地域の小中学生が持続可能な地域作りのためのクリーンエネルギーについての学びの場を提供することができました。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

本年度は国内外のユネスコスクールとの交流が残念ながら実現することができませんでした。来年度は兵庫県のユネスコスクールを中心として積極的に連携をしていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

地域連携プロジェクトとして課題研究の中で「古民家再生プロジェクト」に共同参画することになりました。来年度以降、日常の中で人が出会い、ひとがつながり、人を支え、人が育つ、そして地域を支える、淡路島の人と情報がともに出会う場所を提供するというコンセプトのプロジェクトの運営の一員として活動を行います。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 3年「課題研究」・ユネスコクラブ年間計画作成 |
| 5月 | クリーンエネルギー研究開始
商品開発開始
パソコン教室市民講座開始
古民家再生プロジェクト「米田屋」に参加・年間計画作成 |
| 6月 | 電気科発電所見学
クリーンエネルギー作品制作
「洲本レトロなまち歩き」ボランティア参加
東北支援チャリティコンサート実施
あわじ特別支援学校とのロボット授業による交流
学童保育ボランティア |
| 7月 | クリーンエネルギー作品制作開始
第1回「淡路学」講座実施
「洲本レトロなまち歩き」ボランティア参加 |
| 8月 | 第1回オープンハイスクール
古民家再生プロジェクト「米田屋」において活動
宇山地区「花いっぱい」運動ボランティア参加 |
| 9月 | 地域商店街HP作成
地域保育所運動会ボランティア参加 |
| 10月 | エコカー構造学習会
地域連携防災訓練
「洲本レトロなまち歩き」ボランティア参加 |
| 11月 | 第2回オープンハイスクール
地域保育所において電子紙芝居
地域小学校で工作教室 |
| 12月 | 第2回淡路学講座 |
| 1月 | 「課題研究」発表会 |
| 2月 | ユネスコスクール発表会 |
| 3月 | 1年間のまとめ |